

第三十七回 帝國議會 衆議院 華族世襲財產法改正法律案委員會議錄(速記)第四回

大正五年二月二十三日午後一時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

古屋

米田

今井

高木

加瀬

金澤

阿部

彌一郎君

喜八君

益太郎君

岸本

飯塚

藤吉君

政尾

高橋

馬場

作倅君

長法學博士

豊島

直通君

司法省參事官

山内

確三郎君

賀昌君

會議

出席政府委員左ノ如シ

法學博士

喜八君

金澤

阿部

彌一郎君

藤吉君

政尾

高橋

馬場

作倅君

長法學博士

豊島

直通君

司法省參事官

山内

確三郎君

賀昌君

岸本

飯塚

彌一郎君

喜八君

金澤

阿部

○華族世襲財產法改正法律案
○委員長(古屋慶隆君)　是カラ開會シマス、本日ノ御質問ニ就テ山内參事官が御出席ニナリマシタガ、別ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○加瀬禱逸君　私ハチヨット條文ノコトニ就テ一二三點質問ヲ致シタイ、ソレハ貴族院修正ノ第九條、此規定ニ依リマスト「世襲財產設定ノ認可ノ申請ノ全部又ハ一部ヲ認可スヘカラサル理由アリト認ムルトキハ華族世襲財產審査議會ニ諮詢スヘシ」トアル不認可ノ場合ニ審議會ニ諮詢シテ、認可スルト云フコトヲ要ラヌコトニシマシタノハ、何カ少シ理由ガアルノデアリマスカ、先ヅ之ヲ伺ヒマス
○政府委員(馬場鍛一君)　是ハ此華族世襲財產審議會ノ諮詢ハ、御覽ノ如ク政府ノ提案案ニハザイマセヌノデアリマス、併ナガラ是ハ絶對ニ置カナイ積リテアッタノテナクシテ、恐ラク何カ諮詢機關が必要ナルダラウガ、併シ是ハ必ズシモ法律デ極メヌデモ、省令カ何カテ極メテモ差支ヘナイダラウト云フノデ、提出案ニハナカッタノデアリマス、然ルニ貴族院デハ之ヲ法文ノ上ニ現ハシマシテ、當初ハ設定ノ認可申請ヲ許ス場合モ、許サザル場合モ、同様ニ審議會ニ諮詢スルト云フコトノ案モアッタノデアリマス、然ルトコロガ此華族ノ世襲財產ヲ設定シマス際ニ、其家ノ財產狀況ヲ成ルベク他人ニハ知ラセタクナイ、出來得ル限りハ極ク狹イ範圍、即チ宮内大臣ナリ其部下ノ官吏トカ云フ範圍ニハソレハ已ムヲ得ナイガ、其他ニハ成ルベク知ラセタクナイト云フ希望ガ非常ニ強カッタノデアリマス、ソコテ宮内大臣及其部下ノ官吏が華族ノ財產狀況ヲ調べテ見マシテ、世襲財產ヲ設定スルコトノ認可ヲ與ヘルト云フ場合ニ付テハ、別ニ審議會ニマテ諮詢セヌテモ實際ニ於テ差支ナカラウシ、又今申上ゲタヤウニ、成ルベク狹イ範圍ニ世襲財產ヲ

設定ノ際華族ノ財產狀況ヲ知ラセルヤウニシタイ、一家ノ祕密ノヤウナモノハ、成ルベク人ニ知ラセタクナイト云フコト考カラシテ、唯華族ノ世襲財產ヲ設定シタイト云フ認可ヲ申請シテ、宮内大臣ガ之ヲ許サナイト云フコトノ決定ヲスルニ付テハ、宮内大臣ノ手ニ於テダケデハ、是ガ當ラ得ナイ場合ガアルカラ、其時ハ世襲財產ノ審議會ニ已ムヲ得ズ諮詢スルト云フコトニシタ方ガ宜カラウト云フ貴族院ノ多數ノ希望デアッタメニ、不認可ノ場合ダケ諮詢スル、即チ成ルベク財產狀況ハ、其必要ノ場合ノ外ハ極ク狭イ範圍ノ者ニ知ラセルト云フトコロノ考カラ、斯ウ云フコトニナツタノデアリマシテ、別ニ大シタ支エハナカラウト思ヒマシタカラ、政府モ是ニ同意シタ次第デアリマス
○加瀬禱逸君　唯今ノ御説明テ能ク分リマシタガ、二十條ヲ見マスト、此廢止ノ認可不認可共ニ審議會ニ諮詢スルコトニナツテ居ル、唯今言ハル、ヤウナ場合デアリマスレバ、廢止ノ場合ニ於テモヤハリ釣合ヲシテ置イタ方ガ宜カラウト思フガ、廢止ノ方ニハ認可不認可共アッテ、設定ノ方ニハ不認可ノミニシタノハ分リマセヌガ、之ヲ斯様ニシタニ付テハ、何カ重大ノ關係ガアルノデアリマスカ
○政府委員(馬場鍛一君)　世襲財產ヲ廢シマスコトハ、此法文ノ他ノ處テ御覽ノ如クニ、極ク己ムヲ得ナイ場合、重大ナル理由ノアル場合ニ廢止スルカ、或ハ財產ヲ、入替ヘルタメニ廢止スル、斯ウ云フ場合デゴザイマスルガ、要スルニ世襲財產ヲアルモノノ廢止スルト云フコトハ、餘程已ムヲ得ナイ場合トカ、重大ナル事情、或ハ又他ノ財產ト入替ヘル場合デ、ソレガ宜イカ悪イカニ付テハ、可ナリ重大ナルコト、此財產法テハ見ア居ルノデアリマス、ソコテ此場合ハ廢止スベキ理由ガアルヤ否ヤ、他ノ財產ト置キ替ヘル等ニ付テ相當ナル理由ガアルヤ否ヤニ付テハ、餘程慎重ノ研究ヲシタ上テ、宮内大臣ハ認可不認可ヲ與フベキコトデアルノデアリマス、故ニ此場合ハ兩方共審議會ニ掛ケルト云フコトニシマシタノデ、設定ノ場合トハ聊カ異ニシテ居リマスケレドモ、實際ノ狀況ニハ此方設ガ適應スルト云フコトデ、斯様ニシタノデアリマス
○加瀬禱逸君　了承致シマシタ、モウ一ヶ條文ノ關係ニ付テ伺ヒマスガ、原案ノ十一條貴族院修正ノ十二條ニアリマスガ、是ハ原案ノ十一條ノ一項ニ依ルト、「世襲財產タル旨ヲ記入スルコトヲ要ス」ト云フ嚴格ナル文字ヲ使ツテアリマシタノヲ、之ヲ貴族院ハ「記入スヘシ」ト改メマシタガ、何カ是ニハ格段ニ違フ意味デモアルノデスカ、又貴族院ノ修正ノ十九條、是ハ世襲財產ノ廢止ノコトヲ規定シタ條文デアリマスガ、全部廢止一部廢止ノ關係ハ、是ハ御問ヒ申サヌデモ分リマスガ、茲ニ「重大ナル事由」ト云フノハドウ云フ場合ヲ指スノカ御明示ヲ願ヒタイ、ソレカラ原案ノ十六條ニ「世襲財產タル不動産ノ管理ニ付テハ」云々ト云フ規定ガアッタガ、之ヲ貴族院ヲ取ツタ理由ヲ伺ヒタイ私ハ原案ノ方ヲ存シテ置イタ方が宜イト思ヒマスガ、之ヲ取ツタ理由ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ス

○政府委員(馬場鍛一君)　原案ノ十一條ニ「記入スルコトヲ要ス」トアリマシタノヲ

「記入スヘシ」ト直シマシタノハ、別ニサウ意味ニ於テ變リハアリマセヌガ、何故原案ニ他

本家ノ負債ヲ拂フ場合ニハ重大ナル事由トシテ、世襲財產カラ取除クコトガ出來ルト

リマシテ、ソレハ此記入ハ結局十一條ノ末項ニ依ッテ、此條件ヲ具備シナイモノハ第三件アル場合ニハ、總テ「要ス」ト書イタ例ガアリマスタムニ「記入スルコトヲ要ス」ト書イタノアリマスガ「ヘシ」ト書イテモ別ニ意味ニ於テハ變ツテハ居リマセヌ、ソレカラ十九條ノ重大ナル事由、即チ政府ノ原案ニ已ムコトヲ得ザル事由ト書キシタノハ、是ハイロ／＼ノ場合ガアラウト思ヒマスルガ、二三ノ例ヲ舉ゲテ申上ゲマスレバ、例ヘバ本家ガ茲ニ分家ヲ造リマシテアッタ場合ニ、其分家ノ世襲財產ガアル、然ルニ本家ガ非常ニ財政上困難ヲ告ゲテ、之ガ救濟ヲ致サザレバ或ハ華族ノ體面ヲ維持スルコトガ出來ヌト云フヤウナ場合ニ、分家ニ多大ノ世襲財產デモアリマスレバ、其一部ヲ廢シテ、之ヲ以テ本家救濟ノ資ニ充テルト云フコトモザイマス、ソレカラ又本家分家ノ關係ニアラズシテ、例ヘバ或ハ華族ガ漸次家運が傾キマシテ——別ニ惡イコトヲシテ負債ガアルト云フ譯デハ、ナイガ、段々イロ／＼ナ事情ニ負債が出來テ、其負債ガ可ナリ高イ利子デアルト云フ場合ニ、世襲財產ノ一部ヲ賣拂シテ辨償スレバ、非常ニ債務モ免レ、暮シモ樂ニナリ、又華族トシテノ體面モ却テ維持が出來ルト云フ場合モゴザイマスレバ、之モ其中ノ一例ニアルカト思ヒマス、又重大ナル理由ト書キシタカラ、事由ト云フコトニ付テ多少ドウカト思ヒマスガ、一部ヲ解除シテ、相續稅ヲ拂フト云フコトモアラウト思ヒマス、又公用徵收例ヘハ多大ノ相續稅ヲ拂ハケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ、所謂自由財產——世襲財產以外ノ財產ガアルガ、ドウモソレデハ拂切レヌト云フ場合ニ、已ムヲ得ヌ場合ニハ、世襲財產ノ一部ヲ解除シテ、相續稅ヲ拂フト云フコトモアラウト思ヒマスガ、又公用徵收ナドデ、ドウシテモ其土地ヲ結局徵收サレテシマウト云フ場合ニ、公用徵收トマテ行カナイデ、協議ノ上テ拂ヅ方ガ値段が好イト云フ場合モアリマセウ、サウ云フ例モ這入ッテ宜カラウト思ヒマス、其他想像致シマシタラ隨分アラウト思ヒマス、又現在デハ斯ウ云フ例モアルサウニ聞ア居リマス、例ヘハ家寶ナドニ付テ、本物デアル——重大ナル家寶ト考ヘテ居ツタコロガ、段々調ベテ見ルト偽物デアラト云フヤウナ場合ガアル、サウ云フ偽物ノモノヲ家寶トシテ傳ヘルト云フコトモ甚ダ滑稽ナ話デアルカラ、現在ハソレデモ解除ガ出来ルノアリマス、マア幾多アラウト思ヒマスガ、二三ノ例ハソンナモノデアリマス、ソレカラヤウナ意見デアリシテ、之ニ同意致シタ次第デアリマス

○法學博士政尾藤吉君 今政府委員ノ御説明ノ中ニ、チヨット私モ分リ兼ネルコトガアヅテ御尋ラスルノアリマスガ、華族ノ本家分家トアヅテ、或場合ニ本家ノ家運ガ傾イフ意味デハナクシテ、法律ニマテ書カヌデモ、此事ハ施行規則ニ掲ゲテモ宜カラウト云フ云ヤウナ例ヲ御舉ゲニナツタヤウニ思ヒマスガ、私ノ聽達ヒデアリマシタラウカ、ソレハ其例トシテ御舉ゲニナツナズネ

○政府委員(馬場鍊一君) 其通リデゴザイマス

○法學博士政尾藤吉君 サウシマスト世襲財產ハ自分が使ツタ負債ニ對シテ、是ハ世襲財產デスカラ押ヘテ行カレハ困ルト云フテ、對抗ルコトガ出來ルモノデアルノデスガ、ソレ自分ノ負債ヲ拂フ場合ニハ世襲財產トシテ動カスコトノ出來ヌモノデアヅテ、サウシテ

云フヤウナ御考デスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 唯今申上ゲマシタノハ、自分ノ持ツテ居ル財產ヲ自分ノ債權者ニ對抗スルト云フコトト、本家ノ救濟ノ爲ニ解除スルコトハ、何カ矛盾スルト云フ御質問思ヒマスガ、唯今私ノ述ヘマシタ例ハ、世襲財產ヲ設定シテ居ルカラト云ツテモ、其家ガ非常ニ富裕デアル、何等債權者カラ苦メラレテ居ル點モ無イ、多大ノ財產ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ場合ニハ其財產ノ一部ヲ解除シテ本家ノ救濟ニ充テ、モ、何等債權者ヲ害スルト云フ問題デハアリマセヌカラ、一部ヲ解除シテ本家ヲ救フコトモ、何等差支ナイヤウニ考ヘテ居リマス

○法學博士政尾藤吉君 サウスルト私ハ益々分ラヌヤウニナツテ來マスガ、世襲財產ヲ造ル目的ト云フモノハ、世襲財產トシテ華族ノ財產ノ一部ヲ取除イテ置クト云フト、ソレヲ子孫ニマテ傳ヘテ行クコトヲ得セシムルニ便利デアル、ソマリ通常債權者が差押ヲシテリスルコトノ出來ヌヤウニシテ、財產トシテ融通力ヲ制限シテ置クト云フコトハ、其家ノ永

久ノ爲デアルト云フ趣意カラ、世襲財產ト云フモノヲ作ルノデアルト思フ、ソコテ自分ノ作シタ借金ノタメニ、債權者が華族ノ財產ヲ押ヘヤウト思テモ、世襲財產ハ是ハ世襲財產以外ノ財產ガアルガ、ドウモソレデハ拂切レヌト云フ場合ニ、已ムヲ得ヌ場合ニハ、世襲財產ノ一部ヲ解除シテ、相續稅ヲ拂フト云フコトモアラウト思ヒマスガ、又公用徵收ナドデ、ドウシテモ其土地ヲ結局徵收サレテシマウト云フ場合ニ、公用徵收トマテ行カナイデ、協議ノ上テ拂ヅ方ガ値段が好イト云フ場合モアリマセウ、サウ云フ例モ這入ッテ宜カラウト思ヒマス、其他想像致シマシタラ隨分アラウト思ヒマス、又現在デハ斯ウ云フ例モアルサウニ聞ア居リマス、例ヘハ家寶ナドニ付テ、本物デアル——重大ナル家寶ト考ヘテ居ツタコロガ、段々調ベテ見ルト偽物デアラト云フヤウナ場合ガアル、サウ云フ偽物ノモノヲ家寶トシテ傳ヘルト云フコトモ甚ダ滑稽ナ話デアルカラ、現在ハソレデモ解除ガ出来ルノアリマス、マア幾多アラウト思ヒマスガ、二三ノ例ハソンナモノデアリマス、ソレカラヤウナ意見デアリシテ、之ニ同意致シタ次第デアリマス

○政府委員(馬場鍊一君) 私ノ説明ガ足ラナカッタノカモ知レマセヌガ、決シテ本家ノ債權者ノタメニ分家ノ世襲財產ヲ押ヘサセルト云フ趣意ハ毫モナカッタノデアリマス、唯今御話ノ如クニ世襲財產ハ子々孫々傳ヘルコトヲ本體トシテ居リマシテ、世襲財產ノ廢止ト云フコトハ素ヨリ例外ノ場合デアリマスガ、併ナガラ今日テハ可ナリ現ニ世襲財產ヲ非常ニ澤山有ツテ居ル所モアリマス、將來ハ成程第一條ノ制限ガアルカラ、世襲財產ハ家格ヲ維持スル範圍ト云フコトニナツテ居リマスカラ、サウ非常ニ多大ノ世襲財產ノ設定ト云フコトハ自カラ制限ヲ受ケマスレドモ、併ナガラ場合ニ依テハ、本家ノ爲ニハ分家ノ多少ノ經濟ヲ縮少シテモ、本家ノ救濟ヲスルト云フコトガ、其家及本家ノタメニ却テ適當ニ華族ノ品位ヲ維持シテ行クト云フコトモ、實際問題トシテハ隨分アラウト思ヒマスシ、現在世襲財產ノ設定ニ付キマシタハ、是ハ別ニ制限モアリマセヌノデ、寧ロ最少限度ヲ極メテアリマシタ爲ニ、必シモ此一條ノ制限内デハナク、制限以上ニ世襲財產ヲ設定シテ居ルヤウナ華族モアル、ソレ等ニ付キマシテハ今申シタ例ノ場合ニ世襲財產ノ部ノ——極ク僅ノ部分ヲ解除シテ行クト云フコトモ、實際問題トシテハ隨分アラウト思ヒマスシ、現在世襲財產ノ設定ニ付キマシタハ、是ハ別ニ制限モアリマセヌノデ、寧ロ最少限度ヲ設定シマシタ趣旨ヲ沒却スルコトハナカラウト考ヘマス

○司法省參事官(馬場鍊一君) チヨット附加ヘテ置キタイノハ、本家ヲ救濟スル爲ニ分家ガ世襲財產ノ一部ヲ廢止スルト云フコトニ致シマシテ、廢止スル爲ニ其分家ノ家例トシテ御舉ゲニナツタヤウニ思ヒマスガ、私ノ聽達ヒデアリマシタラウカ、ソレハ其例トシテ御舉ゲニナツナズネ

體面ヲ保ツコトが出來ナイ、サウ云フ場合ニハ、分家ノミナラズ、本家ハ自分ノ家ノ負債ヲ償却せザル時ニ重大ナ關係ヲ及ボス時ニハ、差押ハ出來ナイケレドモ、廢止シテ返済ニ充テルト云フコトハ差支ナイ

○法學博士政尾藤吉君 プレモ重大ナ理由ノ中ニ入レルノデスカ
○司法省參事官山内確三郎君 サウデス、強制執行ヲシテ押ヘルト云フコトハ出來ナイガ、任意ニ廢止スルコトハ重大ナ理由ガアルモノナレバ、自己ノ爲ニモ又本家ノ爲ニスルモ許スト云フコトニナル、但シ華族ノ世襲財產廢止ノ爲ニ其家ノ家格ヲ維持スルコトが出來ナイト云フ狀態ニ陷ル場合ハイケマセバ

○米田實君 チヨット此二十二條ニ就テ伺ヒタ、世襲財產ガ償還若クハ競賣其他ノ事由テ他ノ財產ニ代リタルトキニハ、所有者ハ其財產ヲ以テ世襲財產ヲ補充スベシ、此場合ニ於テハ前條第一項ノ規定ヲ準用ス、其代リ目ノ關係デゴザイマス、例ヘバ株券ガ満期ニナツテ配當ヲ受ケタ、サウ云フ場合ニ世襲財產トシテ財產ノ中カラ除カレマシテ、變ツタ財產ガ——金ナラ金ト云フコトニ相成リマス、サウスルト金其物ハ直ニ世襲財產ノ代リノ物トハ見ルコトが出來ナイノデ、更ニ世襲財產法ニ依ツテスベキモノデアルカ、若クハ其儘ソレモ世襲財產ノ

效力ヲ持ツテ居ルモノノトシテ取扱フ趣旨ニナツテ居リマスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 二十二條ハ唯今例ニ御引キニナリマンタヤウナ例ヘハ株ノ場合デモ、又多クノ例ハ公債ノ償還ナドノ場合、サウ云フ場合ニハ其現金ヲ以テ其儘世襲財產ニスルト云フコトハ、本法デハ世襲財產ノ種類ヲ限定シテ居リマスカラ出來マセヌ、其償還ヲ受ケマシタ現金ヲ以チマシテ、他ノ公債ヲ買フナリ土地ヲ買フナリシテ、ソレデ世襲財產ヲ設定スル、斯ウ云フ趣旨ニ出來テ居リマス、他ノ財產ニ代リタル時ト云フノハ、財產ハ多クハ金錢デアル、其金錢ナリ何ナリヲ利用シマシテ世襲財產ニ設定スル、斯ウ云フ趣意ニ出來テ居リマス、ソレデ前條第一項ノ規定ヲ準用シテ、六箇月以内ニ世襲財產設定ノ認可ヲ申請スルコトヲ申シ、申請者ハイヤ是ダケ全部還ヲ受ケマシタ金錢ヲ特ニ保護スル必要ガアリマス場合ニハ、監理人ノ手デ適當ニ監理效力ヲ持タセル、他ノ財產ニ代ハル迄ハ現金ナラ現金ノ監理トシテ世襲財產ニ代ルトロノ保護ヲ與ヘルト云フ意味デハナインデスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 監理シテ居リマス間ハ、後ノ第二十五條ノ第一項デアリマスガ、所謂分離監理ヲ致シテ居リマスノテ、世襲財產デハアリマセヌ、併ナガラ此監理人ノ手ニアリマス間ハ、ヤハリ準世襲財產的效力ヲ持ツテ居ル、サウ申スト言葉ガオカシイケレドモ、要スルニ此監理財產ハ監理人デナケレバ處分が出來ナイ、監理ニ依ツテ生ジタル點、其他デナケレバ差押が出來ナイト云フヤウニ、所謂準世襲財產的效力ヲ持ツテ居ルケレドモ、世襲財產デハアリマセヌ

○法學博士政尾藤吉君 先刻加瀬君が御質問ニナリマシタ第九條ニ就テ御尋ネシタイコトガアリマスガ、此宮内大臣ガ世襲財產設定ノ認可ノ申請ノ全部又ハ一部ヲ認可スベカラザル理由アリト認ムルトキト云フノハ、ドウ云フ場合ヲ含シテ居ルカ知リマセヌケレ

ドモ、先づ吾ミノ立場カラ——衆議院トシテノ立場カラ考ヘテ見ルト、是ハ無闇ニ財產ノ持ツテ居ル、土地モ持ツテ居ル大名華族ガアル、ソレガ——是ハ比喩デアリマスカラ、實際デハナインデスガ、其華族が他ニ大シタ財產ハナイケレドモ、免ニ角其不動産ハ非常ニ大キナモノヲ持ツテ居ル、矢來町三番地トカ、森川町一番地トカ云フ大キナ大キナモノヲ持ツテ居ル、ソコデ社會ハ其華族ヲ見テ、アノ人ハ伯爵ノ大名華族デアツテ、ア、云フ大キナ大キナ地面ヲ持ツテ居ル人デ、大丈夫ダカラト思シテ信用シテ居ル、所ガ實際ハ他ニ財產ハナク、其現ニ持ツテ居ル大キナ地所ト云フモノハ、悉ク世襲財產ニ縁入レテアルト云フヤウナ場合ニハ、其財產ノ全部が世襲財產トナツテ居ルガ爲ニ、債權者ガ債權ヲ執行シヤウト云フ場合ニ、ドウニモ手ノ付ケヤウガナイト云フヤウナコトガアリトスレバ、是ハ確ニ社會が世襲財產が餘リ过大キ過ギル爲ニ迷惑ヲ蒙ル譯デアル、ソレデ此申請ノ全部又ハ一部ヲ認可スベカラザル理由アリト云フ、サウ云フ疑ノアル場合ハ、今私ノ申シマシタヤウナ場合ヲ含シテ居ラウト思フ、其點ニ付テ政府委員ノ御考ハドウデゴザイマスカ

○政府委員(馬場英一君) 御説ノヤウナ場合モアラウト思ヒマス、即チ本法施行後ニ於テ、一條ニ「家格ヲ維持スルニ必要ナル範囲ニ於テ」ト云フコトデアリマスカラ、自ラ餘リ多大ノ財產ヲ設定シタ云フ認可ノ申請ガアリマシタヤウナ場合ニ、宮内大臣ガ多ウ過ギルト云フヤウナ關係カラ、一部ハ許サヌト云フコトヲ申シ、申請者ハイヤ是ダケ全部シタイト云フヤウナコトヲ飽マテ維持スルト云フヤウナ關係上、九條ニ於テ審議會ニカケルト云フヤウナ場合モアラウト思ヒマス

○法學博士政尾藤吉君 サウシマスルトサウ云フ疑ノアル場合ニ必要ガアル、諮詢機關トシテ華族世襲財產審議會ト云フモノデゴザイマスカラ、其審議會ニ關スル規定ハ宮内大臣之ヲ定ムト云フ、宮内大臣ニ之ヲ委シテシマフテ置クト云フコトハ、餘リニ宮内大臣ニ權利ヲ與ヘ過ギハシナイカ、此法律デ以テヤント世襲財產審議會ノ組織ヲ極メテシマツテ置イタラ宜クハナイカ、或ハ貴族院議員衆議院議員ノ中カラ何名ト云フヤウナ風ニシテ、世襲財產審議會ニ貴族院又ハ衆議院ノ議員ヲ含ムヤウニ此法律ニ於テ極メテ置ク必要ハナイカ、ドウデスカ政府ノ御考ハ……

○政府委員(馬場鍊一君) 御説ハ承リ置キマスルガ、是ハ宮内大臣ニ委セマシタ所ガ、本法施行ノ適當ノ責任者ハ宮内大臣デアリマスルノデ、既ニ一條ニ於テ大體ノ準則ト云フモノハ先刻申シマシタ如ク定メアリマスルシ、規定が詳細ニ出來テ居リマスルガ故ニ、又世襲財產審議會ノ議員トナルベキ者ハ、宮内大臣ニ之ヲ定メサセマシテモ不都合ハナインコト、信シマシテ、政府ガ此貴族院ノ修正ニ同意ヲ致シマシタノデアリマスルガ、先づ華族世襲財產審議會議員トナルベキ者ハ、貴族院ノ是ハ附帶條件ト云フ譯デアリマセヌガ、一議員ノ希望トシテハ、而シテ其議員ノ希望ハ大分ニ贊成モアタヤウニ心得テ居リマスガ、宮内高等官、有爵者、茲學識經驗アル者ト云フヤウナ意味トシテ、スベカラザル

授トカ云フヤウナ法律經濟兩方面ニ付テ、相當ノ學識經驗ノアル者ヲ入レタイト云フヤ
ウナ希望ガアリマシタハ、是ハ一ツ法文デハ此儘ニシテ置キマシテ、其注文ハ成
ベク宮内省モ之ヲ採用スルコト、考ヘマスル、大體其邊ニ宮内大臣ニ御委セニナシテモ
不都合ハナカラウト、斯ウ政府モ信ジマシカヤウナ譯テゴザイマスノテ、宮内大臣ニ大體
此責任ヲ委シタ以上ハ、成ベク避ケタイト云フ考ヲ有シテ居リマス
○法學博士政尾藤吉君 ドウモ唯今ノ政府委員ノ御説明ニ依テ見マシテモ、尙更サ
ウ云フコトヲ此法律デ規程ハ極メテ置ク必要が起シテ來ルト思フ、ト申スノハ有爵者ハ
自分ダケノコト、思シテ居ルノデス、實ハ有爵者モ社會ノ一部デアル、サウシテ有爵者ノ
財產モヤハリ社會ノ財產ノ一部デアル、其社會ノ財產ノ一部アル、百ノ一部ヲ割イテ
融通力ヲ制限シテシマウノアリマスカラ、社會ハ無關係デハナインデアリマスカラ、ソレデ
此法律案ガ吾ミニ依テ審議セラル、ノモ、ツマリソコガ最モ注意スベキ點デアラウト思フ、
吾ミノ權利ヲ十分ニ主張スル爲ニ、茲ニ此事ヲボンヤリト宮内大臣ニ其權限ヲ委シテシ
マツテ置クト云フヨリモ、寧ロ進ニテ其組織ヲ極メテ置ク必要ガアラウト思フ、現ニ貴族
院ノ一議員ガ希望ヲ述ベタト云フ其希望ニ、一向衆議院議員ヲ審議會ノ議員ニ加ヘ
ルト云フコトガナインニ依テ見テモ分ル、彼等ハ一ツモ吾ミノ迷惑ハカヽラスト思フテ居ル、
事實迷惑ヲカケテ居ルノデアリマス

○高木益太郎君 唯今政尾君ノ御質問ニナル事柄ハ頗ル同感デアリマス、殊ニ今政
府委員ノ御答辯ニ依ルト、大審院ノ判事ヲ加ヘタナラバドウカト云フヤウナ貴族院議員
ノ希望ガアッタ云フヤウナコトテスケレドモ、華族ノ世襲財產ノ狀態ヲ知シテ居ル者ハド
ウデアルカト云フト、大審院ノ判事ハ甚ダサウ云フ問題ニ付テハ疎イ、親族會ノコトデア
レバ、裁判スル管轄デアルシ、又華族ト債權者トノ關係ノ如キハ、區裁判所若クハ地方
裁判所ノ關係デアル、又各般ノ紛争ハ多々事實裁判所デアル、此事實裁判所ノ経験
ノアル者ヲ審議會ノ議員ニスルトカ、或ハ檢事ヲ以テスルトカ、檢事ハ一般公益ヲ維持
スル職責ヲ有シテ居ルカラト言ヘバ理窟ハ餘程立チマスルガ、大審院ノ判事ハ全ク机ノ
上ノミテ仕事ヲシテ居ルノデアリマス、法律ノ解釋バカリシテ居ルノデアルカラ、此華族世
襲財產ノ狀態ハドウデアルカ、又華族がドウ云フヤウナ具合デアルカト云フヤウナコトヲ審
議スル能力ノ上ニ於テハ如何ト私ハ疑フノデアリマスカラ、是ハヤハリ華族ノ利益ヲ保護
スルト共ニ、社會公衆ノ利益ヲ保護スルコトガ肝要デゴザイマスカラ、華族世襲財產ノ
審議會ニハ、學識經驗ノアル者、或ハ宮内省ノ高等官、或ハ貴族院議員、又此衆議
院議員、若クハ事實裁判所ノ判事又ハ檢事ヲ加ヘルト云フコトニ爲スシテハドウデアリマ
スカ、貴族院ノ方デ或一議員ガサウ云フ希望ヲ懷ク以上ハ、吾ミハ希望以上ノ要求ヲ
シナケレバナラヌ譯テアリマス、ソレニ付テ政府委員ノ御考ハドウデアリマスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 唯今貴族院議員ノ希望トシテノ大審院判事ノコトニ付
テノ御批評ガアリマシタガ、大審院判事ト申シマシタノハ、恐ラク此華族世襲財產設定
ニ關シテハ、經濟問題ハ固ヨリデアリマスガ、且又法律問題ガアラウ、權利關係等ノコ
トガアラウ、サウ云フコトヲ審査別スルノハ大審院判事ノコトニ付
トヨリ、サウ云フ希望ガアッタノデアラウト思ヒマス、唯今マテ宮内省邊ニ考ヘテ居ル所ハ、
宮内高官有爵者ト云フヤウナモノ以外ニ何ヲ加ヘルカト云フコトニ付テハ、無論宮内省

テモマダシカリシタ所ハ考ヘテ居ラヌヤウニ承シテ居リマス、而シテ唯今高木君カラ貴族
院議員衆議院議員トノ御説モゴザイマシタガ、此華族ノ世襲財產ヲ設定シマスル第一
ノ問題ハ、無論經濟問題デアラウト思ヒマスガ、有爵者ノ財產ノ狀況ヲ調ベテ之ヲ承
知シテ居ルモノハ、ヤハリ宮内大臣ニアラウト思ヒマス、宮内大臣が全ク社會的ノ私益
ノ問題ヲ考ヘズニ、無責任ナ行爲ヲスルコトハ萬々ナカラウト政府デモ信シテ居リマスノ
デ、即チ第一條ノ制限ナクトモ政府原案ニ於テハ適當ノ調節ヲ得ルコト、信シテ居ツタ
譯テアリマスガ、一條ニ斯ウ云フ標準ヲモ掲ゲマシテ、尙債權者ヲ保護スル爲メニハ十分
ナル手續ヲ執ツテ始メテ認可ヲスルヤウナ次第デゴザイマスカラ、今御希望ノゴザイマシタ
ヤウナモノヲ世襲財產ノ審議會ニ加ハラヌカラト申シマシテモ社會上ノ利益ヲ害スルヤ
ウナ認可ヲ與ヘルコトハ萬々ナカラウト信シテ居ルノデアリマス、故ニ唯今ノ御意見ニ直ニ
此處デ御同意ヲ表スル譯ニハ參リ兼ネルノデゴザイマス
○加瀬禪逸君 私ハ此世襲財產ノ失効ニ付テ伺ヒタイ、貴族院ノ修正ノ二十六條、
原案ノ二十二條現行法ノ十五條ニ相當スル規定デアリマス、此二十六條ニ依ルト、世
襲財產ノ失効ハ失爵ト製爵ノナイントニシテ限シテアルノデアリマスガ、現行法ニ依ルト、
此以外ニ現行法ノ十五條ノ三號即チ「缺額ヲ其期間内ニ補充セサルトキ」ハ世襲財產
ノ效力ヲ失フタル、補充ヲ爲スベキコトヲ命セラレテ此補充ヲ爲サナイトキハ失効スルト
云フヤウニ現行法ハナシテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ特ニ御取リニナリマシタノハドウ云フ
譯テアリマスカ、私共ノ考ニ依ルト寧ロ是ハ現行法ノ規定ノ方が宜クナイカト思フ、或
期間内ニ世襲財產ノ補充が出來ナイヤウナモノハ、最早其點ニ於テ特段ニ華族タル家
格ヲ強シテ維持セシムル必要ハナイン、斯ウ云フヤウナコトヲ命セラレテ此補充ヲ爲サナイトキハ失効スルト
別ナル保護ヲ與ヘル必要ハナカラウト思フ、削リマシタ理由ヲ伺ヒタイ
○政府委員(馬場鍊一君) 現行法ノ第十五條ノ三號ノ缺額ヲ其期間内ニ補充シ
ナイト云フ場合ニ失効ノゴザイマスノハ、是ハ御覽ノ如ク現行法ハ收益五百圓以上ノモ
ノデナケレバナラスト云フノ關係カラ嚴重ニ補充ヲ命ジタノデアリマス、故ニ其五百圓以内
ニナシテシマッタラ直ニ缺損ヲ補充セヨ、補充シナケレバ誠ニ粗末ナル世襲財產ニナシテシ
マンテ居ルカラ、ソシナモノハ全部效力ヲ失ハセル、斯ウ云フ規定ニナシテ居ルノデアリマス
ガ、改正法ハ最少限度ト云フモノハ法文ニ掲ゲテ居リマセヌ、固ヨリ法文ニ掲ゲテナシカ
ラソレデハ僅ニ百圓一枚ノ公債證書デモ世襲財產ニ設定スルカト申シマスト、ソレハ實
際ニ於テハサウ云フ申請モナカラウト思ヒマスガ、若シアレバハリ許サヌ考デ居ルノデアリマス
ガ、而シテ貴族院ノ修正案ノ二十一條ノ「其ノ財產ヲ以テ世襲財產ヲ補充スヘシト」
ゴザイマスノハ是ハ補充ト云フ言葉ガアリマスト、如何ニモ缺損補充ノヤウニ見エマスガ、
サウ云フ意味ノ補充ニ非ズシテ、免ニ角代ヅ財產ガアッタラソレデ免ニ角世襲財產ヲ
設定セイト云フ意味デアリマス、聊カ現行法ノト意味ガ變テ居ルニ同ジヤウナ字ヲ使ツ
タ次第ゴザイマス、ソコデ現行法ノ如ク最少ノ限度ヲ規定シテ居リマセヌト、一部分補
充セナカッタ云ツテ直ニ全部效力ヲ失フト云フコトハ、法ノ立方ガ違フ以上ハ、却ツテ不
都合ナル結果ヲ見ルト思ヒマスカラ、十五條ノ三號ハ削シテ居ルノデアリマス
○阿部德三郎君 私ハ此原案ノ第三條ニ付テ御尋シテ置キマスガ、此補佐人ノコト
デアリマス、政府ハ華族世襲財產法ナルモノハ明治十九年ニ制定シタモノニアッテ、今日

ノ民法其他ノ法規トモ抵觸スルヤウナ點ガアルカラ、其改正ヲ期スル爲ニ本法ヲ提出シタモノデアルト云フ御説明ニアリマス、然ルニ民法ノ補佐人ハ御承知ノ通り讀ンデ字ノ如ク補佐機關ニアリマス、然ルニ此貴族院ノ修正ニ依リマスト、補佐人ハ家政協議員會ノ決議ヲ經テ世襲財產ノ設定ヲ申請スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ル、然而是ハ代理機關ニナツテ居ルノデアリマス、全ク其主意ニ於テ民法ノ規定ハ抵觸ヲスルコトニナルノデアリマス、原案ノ通リニ致シマスレバ、無論斯ウニ云フ問題ハ起ラヌノデアルケレドモ、貴族院ノ修正ノ通りニ致シマスレバ、全ク民法ノ補佐人ナル者ト主義ヲ異ニスルト云フコトニナル、一體此立法例ハ統一デナケレバナラヌ皆デアル、或ル法律ニ於テハ補佐機關トナリ、或ル法律ニ於テハ代理機關トアルト云フヤウニ、法律ニ依テ區々ニ主義ヲ異ニスルト云フヤウナコトハ甚ダ面白クナイコトト思フ、何故ニ政府ハ民法ノ規定ニ悖ルトコロノ貴族院ノ修正意見ニ同意ヲサレタノアルカ、又何故ニ政府ノ宣言シタルトコロノ民法其他ノ諸法令トモ抵觸スルコロガアルカラ、之ヲ改正スルト云フコトノ主張ニ悖ルトコロノ修正ニ同意ヲサレタノアルカ、實質内容ノ問題ハ是ハ別デアル、本員ノ如キハ或ハ補佐機關ト云フモノデナク、代理機關ニシタ方ガ宜イデハナカラ、ウカト云フ考モルノデアリマスカラ、此點ニ於テ政府ノ同意シタル意見ヲ伺ヒタ

○政府委員(馬場鎌一君) 補佐人ニ就テノ唯今ノ御質問ハ、是ハ成程現行ノ民法トハ餘程違ツタ權限ヲ補佐人ニ附與シタ次第ニアリマシテ、民法トモ統一ガ取レテ居リマセヌ、併ナガラ政府ガニニ同意致シマシタノハ、準禁治產者ノ場合ニ於テハ、却ツテ實際問題トシテハ世襲財產ヲ設定シテ、其家ヲ保護スルト云フ實際ノ必要ガアルデハナイカ、其場合ニ本人ハ準禁治產者アル、是ガ自分デ補佐人ノ同意ヲ得テ世襲財產ヲ設定スルト云フ行爲ハヤルマイ、而シテ民法ニ依リマスレバ、當然サウニ云フ權限ハ無イ、而モ殊ニ實際ニ於テハ此ノ如キ場合ニモ世襲財產設定ノ場合ガ隨分アルコトアル、唯併ナガラ補佐人が單獨ノ意見ヲ以テ世襲財產設定ノ申請ヲスルト云フノハ穩當デナイガ、所謂家政協議員會ト申シマシテモ、其内容ハ主ニ親族デゴザイマス、故ニ謂ハバ親族ノ同意ヲ得テ、其機關ノ決議ヲ經テ認可ノ申請ヲスルコトハ、民法トノ關係ニ於テハ違ヒマスケレドモ、實際ノ事情ニ適合スルデハナイカト云フ御意見デアッタノデアリマス、成程民法ノ規定ニモ疑問ハゴザイマスカ、此補佐人ニ就テハ隨分御説モアリマシタヤウニ、此權限ニ就テハ既ニイロ／＼ノ議論モアリマス位ニアリマスカラ、此ノ如ク致シマシタコロデ、敢テ弊モナカラウ、實際ノ必要カラハ此ノ如ク致シタ方が却ツテ世襲財產設定ノ上ニ於テ便利デアラウト云フ理由カラ、同意致シタ次第ニアリマス

○阿部德三郎君 私ノ御尋スルトコロノモノハ、實際ノ必要不需要デハナイ、一體此立法例ト云フモノハ統一サレナケレバナラヌモノアル、唯今モ申シマス通リニ、法律ニ於テハ補佐機關ガアル、一方ニ於テハ代理機關ガアルト云フヤウニ、法律ニ依テ補佐人ノ性質ト申シマスカ、其主義ヲ異ニスルト云フコトハ甚ダ宜シクナイ、若シ政府が實際ノ必要上代理人ニシナケレバナラヌト云フコトデアルナラバ、進シニ民法ノ補佐人ノ規定ヲ改正スルト云フ御意見ヲ有シテ居ラル、ノデアルカ、其點ヲ伺ヒタ

○司法省參事官山内確三郎君 補佐人ハ御議論ノ通り補佐人デアリマス、此補佐人

ト云フ意味ハ先づ普通ノ場合ニ於テハ準禁治產者ガ或ル行爲ヲナス時ニ、補佐人ノ同意ヲ得ナケレバナラヌ、斯ウニ云フコトニナツテ居リマス、是ガ補佐機關ノ正面ノ動デアリマスガ、此補佐人ハ準禁治產者ヲ保護スル關係カラシテ、或ハ準禁治產者ガ心神喪失ノ狀況ニ陷ツタ時ニハ、民法ノ例ヘ第七條ニ依テ禁治產ノ宣告ノ請求ヲ自ラ爲ス、斯ウニ云フ權限ヲ與ヘラレテ居リマス、或ハ又其準禁治產者ノ關係ニ就テ親族ヲ必要トスルナラバ、同シク補佐人ハ自己ノ資格ヲ以テ、親族會ノ招集ノ申請ヲスルト云フヤウナコトガアルノデズ、ソレデワレト性質ガ同シトハ申シマセヌガ、隨分關係ガ全ク無イノデアリマセヌ、茲ニ準禁治產者ガ居ル、然ルニ是ハ家産ヲ蕩盡スル虞ガアルト云フヤウナ場合ニ於テ、若シ狂人ナラバ禁治產ノ宣告ヲスルト同シ意味ニ於テ世襲財產ヲ設定シテ、サウシテ準禁治產者ノ財產ヲ浪費スル憂ナカラシムルト云フ主旨ハ、正面同ジデハナイガ、精神ニ於テハ同ジデアリマスカラ、民法ノ主旨ハ補佐機關ハ即チ同意ヲ與ヘルノミナラズシテ、必要ナル程度ニ於テ其權限ヲ隨分擴ゲテ居ル、更ニ此世襲財產關係ニ就テハ、補佐人が準禁治產者ヲ保護スル必要上、世襲財產ヲ設定スル申請ヲナス權限ヲ與ヘテ、民法ノ主旨ト抵觸スルト云フ考ハ毛頭持ダヌノデアリマス、而シテ此補佐人ハ之ヲ代表機關トスルガ宜イカ惡イカト云フコトハ、是ハ隨分考モノデ、準禁治產者ト禁治產者トノ程度が違フ以上ハ、準禁治產者ハ全然無能力者トシテ、之ヲ代表者トスルコトハ民法ノ改正ヲスルニシテモドウデアラウカト云フ考デ居リマス、唯民法ノ缺點トシテ私ガ考ヘテ居リマスノハ——缺點ナド、申スト甚ダ大キナコトヲ言フヤウデアリマスガ、司法省ナドデモ因ツテ居ルコトハ、補佐人が準禁治產者ノ行爲ニ就テ同意ヲ與ヘル權利ハ有シテ居ルケレドモ、準禁治產者ノ同意ヲ得ズシテ或ル行爲ヲナシタ時ニ、補佐人ハ取消スコトハ出來ナイ、解釋上準禁治產者ノミガ取消スコトニナツテ居ル、準禁治產者ガ補佐人ノ同意ヲ得ズシテ或行爲ヲシタ場合ニ、自ラ取消スト云フ、權能ガアルカラ、補佐人ニモ取消スノ權限ヲ與ヘテ置クト云フコトハ、或ハ適當ノコトデアラウカト考ヘマスケレドモ、之ヲ進メテ後見人ト同様ニ無能力者ノ代表者トスルト云フヤウナコトマデ進シニ、民法ノ主旨ヲ一變スルト云フコトモ、準禁治產者ト云フモノ、精神ニ就テ如何デアラウカト云フ考ヲ持ツテ居リマス

○高木益太郎君 此法案ハ或華族ノ家ヲ重ンズルカドウカト云フコトニ就テ、甚ダ主義ガ一貫シナイヤウナ感ヲ有ツノデアリマスガ、ソレハ若シ家ヲ重ンズルト云フ主義デアルバ、不法行爲ニ因ツタ損害賠償ノ請求ノ場合ニモ、ヤハリ差押競賣等ヲ許サヌト云フ論ニ歸著シナケレバ、或ハ契約ニ基ク義務デアッテモ、差押ヲスルコトヲ許サヌコトニナツテモ、不法行爲デモ、或ハ契約ニ基ク義務デアッテモ、差押ヲスルコトモ出來、或ハ競賣スルコトモ出來ルコト居ル、ソコデ初メテ或華族ノ家ヲ保護スルト云フ目的ガ達セラレルト思フ、所ガ此ニ一ツノ脱ケ途ヲ擇ヘテ、不法行爲ニ因ル損害賠償ノ請求權ガ立ツ、斯ウニ云フコトデアルト、其世襲財產ト云フモノノ保護ノ途ヲ脱却スル方法トシテ、單純ナ契約上ノ行爲デナク、チヨットシタ不法行爲ヲスレバ、或ハ差押ヲスルコトモ出來、或ハ競賣スルコトモ出來ルコトニナツル、折角華族ノ家ヲ保護スルト云フ目的が、戸主其人ノ不法行爲ニ依テ全ク其目的ヲ貫クコトが出來ヌヤウナコトニナルト、所謂前門ノ虎ヲ防イテ後門ニ狼ノ這入ヘテ來ルノヲ防ガヌト云フヤウナ具合ニ尻抜ケ法律ニナリハシナイカト思フ、ソレハ起草委員ノ

間ニモ大分議論ノアツタコトト思フ、即チ廣ク保護ヲ與ヘルトカ、不法行爲ニ因ル損害賠償ノ場合、又ハ其他ノ場合ノ除外例ヲ設ケルカト云フコトニ付テハ、議論ノアツタコトト信シマスケレドモ、斯ウ云フコトニスルト、若シ華族世襲財產ト云フモノヲ設ケテ居ツテ、家業財產スルト云フノ目的ヲ貫徹セヌト云フヤウナ感シラ第一ニ有ツ、第二ニハ租税ナドヲ滞納シテ、世襲財產ヲ處分サレル、現ニ先頃岩倉家が或租税ヲ滯納シタ爲メニ、祖先傳來ノ財產ヲ稅務署が競賣處分ニ處シテ、各新聞ニ其競賣ノ公告が出テ居ツタ、世襲財產ト云フモノヲ打毀ス一ツノ方法トシテ、滯納ヲスレバ世襲財產ト云フモノハ賣却サレテシマフト云フヤウナコトデ、或一人ノ人間ノ意思如何ニ依テ、折角慎重ナ手續ヲ履シテ世襲財產ヲ設定シタモノヲ打毀サレルヤウナ結果ヲ生シハセヌカ、ソレヲドウシテ保護スルカト云フニ、或ハ租税ノ先拂、若クハ租税ノ供託ヲ許ス、サウシテ永久ニ世襲財產ノ安全ヲ圖ルト云フヤウナ途ヲ他ノ一面ニ開イテ置カヌト、ソレガ一貫シナイヤウナ感シラ有チハマセヌカ、ソレカラ第三ニヤハリ其主義ノ應用ノ上ニ於テノ議論ニアリマスガ、ソレヲドウシテ保護日本員ノ質問ニ對シテ、墳墓ハ世襲財產ノ目的ノ中ニ這入ラヌヤウナ御答辯ニナツタ、所ガ成程平民ノ墓デアレバ免モ角モアリマスケレドモ、大名ニナルト、墳墓ガ所謂廟所ナル、例ヘバ伊達家ノ廟デアルトカ、徳川家ノ廟デアルトカ、其他一地方ノ大名ノ墓デモ、一面ニハ其地方ノ名所トナリ、一面ニハ廟所トシテ尊崇シテ居ル、民法ノ規定デハ系圖墳墓ト云フモノハ家督相續人ガ之ヲ繼承スルコトニナツテ居ル、然ラバ家ヲ重ンズル思想ノ上カラ言ヘバ、日本ハ祖先崇拜ノ國デアルカラ、勿論墳墓ト云フモノハ之ヲ大切ニシナケレバナラヌ、祖先ノ廟所ト云フモノヲ大切ニシナケレバナラヌト云フコトハ、國體ノ上カラ論シテモ疑ナイコトデアル、素ヨリ系圖デアルトカ或ハ墳墓ト云フモノハ、場合ニ依テハ財產タル價值ガナイカモ知レスガ、併ナガラ場合ニ依テハ亦財產タル價值ガアル、現ニ大審院ノ判例ニ依テモ、人ノ遺骸ハヤハリ窃盜ノ目的物ニナル、斯ウ云フ判例モアリマス、又現三吾ミ民間ノ者ノ墓デモ、例ヘバ天王寺アタリニ行クト、其墓ノ所有權ナク、墓ノ場處ヲ使用スルト云フ一種ノ株ト云ツテモ宜イヤウナモノガ一坪百五十圓位ノ值打テ賣買シテ居ル、況ヤ大名ノ廟所トカ云フモノハ、其一地方ノ名所デアルトカ云フノデ、非常ニ舊藩臣及其藩内ノ百姓共ガ尊崇シテ居ルカラ、系圖家寶ト共ニ其墳墓ト云フモノヲ世襲財產ノ中ニ加ヘルト云フコトハ當然ノヤウデアル、而シテ初メテ華族ノ家ヲ重んズルト云フ思想ガ一貫シタ譯ニアラウト思ヒマス、ソレヲ政府委員ノ説明デハ墳墓ハ這入テ入ラヌト云フ、サウスレバ系圖モ亦這入ラヌト云フコトニナル、民法ノ規定ニ依レバシテシナケレバナラヌ場合ニ、却テ之ヲ除外スルト云フコトハ、主義ガ一貫シナイヤウナ感シヲ有ツノデアリマス、ソコラニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○司法省參事官山内確二郎君 唯今ノ最終ノ問題、即チ墳墓ニ關スルコトハ、私ガ此前ニ申シタノデアリマスカラ、此點ダケハ私カラ一應申上ケマス、其他ノ點ハ政府委員カラ答辯ガアラウト思ヒマス、私ノ申様ガ惡カッタガ爲カ、私ノ言ハントスル趣旨ヲ高木君ニ依テ反対ニ解釋サレテ居ルコトハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、私ノ申シマシタノハ、不動産ノ如キ世襲財產ヲ設定スル場合ハ、先ツ收益アル財產ト云フコトガ頭ニアル、併ナガ

ラ收益ナキ財產ト雖モ、動產ナラバ——家寶其他ノモノナラバ不動產ノ如ク收益ナキ財產デモ、ヤハリ之ヲ世襲財產ト爲スコトハ妨ケナイト云フコトヲ申上ゲタ、現行法ニ於テモ不動產ハ五百圓以上ノ收入アル財產ヲ以テ世襲財產トスル——不動產ニ限リマスカ、五百圓以上ノ收入アルモノヲ以テ世襲財產トスル、併ナガラ同時ニ收益ナキコロノ財產ヲ以テ世襲財產ト爲スコト妨ケナイト、斯ウ云フ規定ガアルノテアリマスカラ、其趣旨變ヘタ積リテハナイ、併ナガラ私ノ説明ガ足ラナイノハ、斯ウ云フコトヲ附加ヘナカツタガ爲ニ、趣旨ガ徹底シナイノテ、素ヨリ私ノ過リデアリマス、世襲財產ト云フノハ御承知ノ通り財產ノ處分ヲ禁ズルト云フコトガ主タル目的デアル、系譜墳墓、斯ウ云フモノハ唯今高木サンカラ言ハレマシタ通リニ家督相續ノ特權アアル、家督相續ノ特權デアツテ、是ハ相續人ニ必ず歸スルモノデアル、法文ハ是ヨリ以上明カニシテ居ナイケレモ、是ハ他ニ處分スルコトガ出來ナイ、墳墓ヲ賣ルト云フコトハ無效デアル、系譜ヲ他ニ賣ルト云フコトモ無效デアルト云フ解釋ヲ取ッテ居ル、其解釋ノ通リノコト、致シマシテ、サウ云フ考デアルカラシテ、墳墓ナリ系譜ノ如キモノハ、當然家督相續ノ特權ニ屬スルモノデアルカラ、強チ之ヲ世襲財產ニシナイデモ濟ムダラウト云フノデ、墳墓等ヲ世襲財產ヲ作ル時ニ頭ニ置イテ書イテ居ルノデハアリマセヌ、併ナガラ墳墓ト雖モ之ヲ世襲財產トスルト云フコトハ差支ナノイデス、ソレデ私ノ申シ様ガ足リナカツタガ爲メニ、反対ノ意味ニ皆様ガ御取り下スツテ居ルナラバ、ソレハサウ云フ意味デハナカツタト云フコトヲ明カニ申上ゲテ置キタイ

○政府委員(馬場鍊一君) 高木君ノ御質問ニ御答致シマス、不法行爲ニ因ル損害ノ賠償ノ請求ニ基キ差押ヲスルト云フコトニ就テハ、御説モアリマシタ如クニ、政府ガ起草シマス際ニモ非常ナ議論ノアツタ點ニアリマス、而シテ議論ノ結果ハ政府提出案ノ第十五條ニハ不法行爲ノコトヲ取テ出シタノデアリマスガ、外國ノ世襲財產法ニ就テハ是が修正ニナリシタノハ、華族ガ不法行爲ヲ爲シテ他人ニ損害ヲ與ヘタト云フ場合ニ、之が普通ノ債權關係ナラバ、當事者ハ合意ノ上デ債權債務ノ關係が出來ルカラ宜シガ、華族ガ不法行爲ヲシテ他人ニ非常ナ損害ヲ與ヘタ場合ニ、世襲財產シカ他ニナイ、故ニ俺ハ金ヲ拂ハヌト云フコトハ如何ニモ社會道德上カラ云ツテ面白クナコトデアル、他ニ自由財產ガアレバ無論支拂フデアラウガ、他ニ自由財產が無い場合ニ、華族ノ家系圖墳墓ト云フモノハ家督相續ノ場合ニ家督相續人ガ之ヲ繼承スルト云フコトヲ法文ノ上ニ明カニ書イテアル、其普通ノ場合ヨリハ一層華族世襲財產ニ付テハ意味ヲ重ンジテシナケレバナラヌ場合ニ、却テ之ヲ除外スルト云フコトハ、主義ガ一貫シナイヤウナ感シヲ有ツノデアリマス、ソコラニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

アル場合ニ、華族ガ態ニ不名譽ヲ滯納處分ヲ受ケルト云フヤウナ場合ハ實際ニ於テハシマシタ次第アリマス、次ニ租税ノ滯納處分ノコトデアリマスガ、併ナガラ敢テ之ニ反対ヲシタケレバナラヌト云フ程ノ強イ理由モゴザイマセヌノデ、之ニ同意ヲ致シテ云フノハ、如何ニモ華族トシテアルマジキコト、スマジキコトデアル、家ヲ保護スルカラト云ツテモ、其財產ヲ以テ對抗スルノハ如何ニモ不都合デアルト云フ意見ガ強カツタノデス、之ニ就テハ隨分御議論モアラウト思ヒマス、又議論モ出來ル點デアリマスガ、併ナガラ保護スルト云フ理由ニ依ツテ、一般人民ニ思ハザル損害ヲ與フルニ拘ラズ、之ヲ賠償シテ云フノハ、如何ニモ華族トシテアルマジキコト、スマジキコトデアル、家ヲ保護スルカラト云ツテモ、其財產ヲ以テ對抗スルノハ如何ニモ不都合デアルト云フ意見ガ強カツタノデス、之ニ就テハ隨分御議論モアラウト思ヒマス、又議論モ出來ル點デアリマスガ、併ナガラ萬ナカラウ、何レ滯納處分ヲ受ケル場合ハ、他ニ自由財產ガナクシテ、世襲財產シカナイ、而モ滯納處分ノ往ク前ニ世襲財產ノ一部廢止モ出來ルノニ、ソレヲモスル暇ガナ

カツタト云フヤウナ關係ア、斯ウ云フ事實ガ起ルノデアラウト考ヘマシテ、是モ公ノ職課ニ

對シテ世襲財產ナルガ故ニ滯納スルト云フコトハ、隨分公益ヲ害スルヤウナコトモアラウト考ヘマシテ、之ニ同意致シマシタ、尙附加ヘテ申上ダテ置キマスガ、世襲財產ノ制度ハ華族ガ自己ノ任意ニ而モ亂暴ニ行爲ヲ致シマシタ場合ニハ、往々ニ目的ヲ達セヌ場合ガ他ニモアラウト思ヒマス、例ヘハ家寶ヲ世襲財產トシテモ、之ヲ破壊シ或ハ之ヲ燒棄テルト云フヤウナコトモ、事實上處分ノ出來ナイコトアリマセス、併シサウ云フ無法ナ華族ハ、如何ニ世襲財產ヲ設定シテモ、何トモ保護ノ途ガナイ次第アリマスカラ、今申上ゲタヤウナ關係上、政府モ此修正ニ同意致シマシテモ何等不都合ハナイト感ジマシタ

○高木益太郎君 不法行爲ニ依ル損害賠償ノ請求ニ就テ一應ノ御説明ヲ伺ヒマシタガ、果シテサウ云フ理窟アルナラバ、不當利得ニ基ク債權、即チ不當ニ利得シタモノニ依シテ、甚シイ例ヲ云ヘバ、世襲財產ヲ買シタ不當利得ノ債權ガ世襲財產ヲ成立スル基礎デアタ、サウ云フヤウナ場合ニ於テモ、情ノ上カラ申シマシテモ、理窟ノ上カラ申シマシテモ、不法行爲ニ依ル損害ニ就テ差押ヲ許スナラバ、不當利得ニ依シテ世襲財產トシテ地面ナラ地面ヲ買シタ云フヤウナモノニハ、差押ヲ許スノガ權衡上條理上當然ノトウニ思フノデスガ、ソレヲ許サヌハドウ云フ譯アスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 不當利得ニ依シテ世襲財產ヲ直ニ得ルト云フ場合ハナイト思ヒマスガ、ツマリ不當利得ニ依シテ財產ヲ得タ場合ト云フ御質問デスカ

○高木益太郎君 サウデス

○政府委員(馬場鍊一君) 不當利得ニ依シテ世襲財產ヲ得タ場合ニハ、是が直ニ世襲財產ニナルト云フコトハ無論アリマセヌノテ、之ニ就テハ相當ノ前ノ條文ニアリマスヤウナ手續ヲシテ、始メテ世襲財產設定ノ認可ガアルカニカト云フコトが決スルノデスガ、今御心配ニナルヤウナコトハ事實ノ上ニハ生ジナイヤウニ考ヘテ居リマシタ

○高木益太郎君 サウスルト不法行爲ニ依シテモ同様ナ譯アタテ、審査ヲナサルト云フコトハ總テノ世襲財產ノ設定又ハ増加ノ場合ニ審査ヲナサルノデスガ、審査シタカラト云シテ根本ニ不法行爲ノ事實ガアル、其事實ノ發見が遲カタ、例ヘハ設定ノ申請ヲスレバ二箇月ナラ二箇月ノ間ニ相當ノ手續ヲ經テ、サウシテ宮内大臣ガ認可スル、認可シタ後ニ於テ其華族ハ不法行爲ヲシテ居ルト云フ事實ヲ發見シタ、而シテ其不當利得ノ權利ハ不法行爲アハナイ、或ハ不當利得ノ時效ハ長ク、不法行爲ノ時效ハ短イカラ、不法行爲ノ債權デハイケナイガ、不當利得ノ債權デハイケルト云フ場合ガ實際ノ上ニ於テアル、又單純ナ不法行爲デナイ不當利益ノ場合デアル、今日ノ學者ノ說ニ依ルト、不法行爲ト不當利得トハ競合シテモ差支ナイ、一ツノ行爲ア、或ル方面カラ云ヘバ不法行為、或ル方面カラ云ヘバ不當利得デアシテモ差支ナイ、競合シタ場合ハ無論ノコト、競合ヲシナイ場合、單純ニ不當利得ヲシテ居ル、惡意若クハ過失デナクシテ不當利得ヲシテ居ル、サウ云フ場合ニモ世襲財產ノ差押ヲ許スノガ、不法行爲ニ就テ既ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケタ以上ハ、權衡上當然ノヤウニ考ヘル

○司法省參事官山内確三郎君 此不法行爲ニ許ス、或ハ監理ノ行爲ニ依シテ生ジタル債權ニ基クナラバ、差押ガ出來ルト云フコトニ致シマシタ本來ノ趣旨ハ、華族世襲財產設定以前ノ關係ニ著眼ヲ主トシテ致シタノデハナインデアリマス、其以前ノ債權ハ先

ア告示ヲシテ然シテ之ヲ打切シテシマフト云フノが當リ前デアツテ、權利ヲ保護スルコトモ

出來ルデアラウ、唯今ノ問題ニナシテ居ル條文デ、不法行爲ナラバ、差押ガ出來ル、其他ノ債權ナラバ、差押ガ出來ナイト云フコトニ致シマシタノハ、普通ノ債權アレバ世襲財產設定後ニ生ズルモノニ就テ考ヘマスト云フト、世襲財產ガアル、是ハ押ヘラレザル財產ガアルト云フコトヲ頭ニ置イテ契約スルノアルカラ、サウ云フ債權者ト云フモノハ先ツ世襲

財產ヲ作ツタナラバ、是ニ掛カレナイト云フコトニ致シマシテモ大シタ差支ハナカラウト思ヒマス、併ナガラ不法行爲、極端ナル例ヲ取ルト家ヲ焼ク、世襲財產ヲ澤山持ツテ居ツタ人ガ家ヲ焼イタ、又不穩ノ言アリマスガ、極端ノ例ヲ取レバ、或ハ自動車デ人ヲ轢殺シタト云フ場合ニ、殺サレタモノ又ハ家ヲ焼カレル者ノ家族ハ世襲財產ヲ持ツテ居ルカラ掛レナイト云フ關係ハナイ、サウ云フ場合ニハ世襲財產ガ澤山アツテ、損害ヲ賠償シナケレバナラヌト云フコトハ、世襲財產ヲ作ツタ云フコトニ不法行爲ノ債權者ヲ保護セヌト云フコトハ少シオカシクハナイカ、ソレカラ不當利得、是ハ契約アリマセヌカ、世襲財產設定後ノ不當ノ利得ハ、是ハ世襲財產ニ入ラナイモノデアル、世襲財產設定後ノ關係ニ付テ考ヘマスレバ、不當利得ニ依シテ取得シタルトコロノモノハ全ク同シクシテ、不當利得モ世襲財產設定後ニ付テ不法行爲ト不當利得ト云フモナデニスル必要ハナカラウ、世襲財產ハ不當利得トハ全ク關係ハナイ、不法行爲ハサウデナイ、世襲財產ハ即チノ殺シテ是ハ世襲財產ヲ以テモ損害賠償ノ請求ヲ受ケナケレバナラヌガ、是ハ大體世襲財產ヲ以テ不法行爲ダケハ差押ガ出來ルコトニシヤウト云フコトニナシタ趣意アリマス、既ニ斯ウ書イテ見マスルト、然ラバ世襲財產設定前ノ不法行爲是ハ告示ヲシテ債權ヲ申出デナイカラ打切ラレタノデアル、是ハ世襲財產ニハ掛カレナイト云フコトニシテ宜クハナイカト云フ議論モ出ルケレドモ、不法行爲其債權ニ依シテ世襲財產ハ差押ヘラレルト云フナラバ、必ず設定ノ前後ニスル必要ハナカラウ、ソコテ不法行爲ニ付ア——不當利得ニ付テ此區別ヲ又普通ノ債權ニ付テ區別ヲ置キマスルノハ、世襲財產華族ガイロ／＼ノ債權ヲ取得シテ債務ヲ負擔シタ場合ニ、不法行爲ダケハドウカ保護シテヤラナケレバ人道ノ關係モアルデハナイカト云フコトデ、ソレデ貴族院ガ立テラレタモノト思ヒマス

○高木益太郎君 ドウモ少シ一貫シナイヤウニ思ヒマス、後ハ議論ニナルカラ此場合申上ゲマセヌガ、此現行法ノ第十四條トソレカラ貴族院ノ修正ノ三十二條ニ付テ伺ヒマスガ、三十二條ニ依ルト「宮内大臣ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ世襲財產ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得」ト書イテアリマス、ソレカラ其一番下ノ段ニ華族世襲財產法施行手續第十四條「世襲財產ニ關スル必要ト認ムルコトアル時ハ」云々「地方廳ニ命シ當該官吏ヲシテ臨檢セシムルコトアルベシ」今日ハ場合ニ依ルト地方廳ヤ行政廳ニ命シテ行政官廳ノ官吏ニ取締ラシムルト云フコトニナシテ居リマスガ、今マテ修正案ノ三十二條ハ「當該官吏ヲシテ世襲財產ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコト、ヤハリ此地方廳ニ命シテ地方廳ノ官吏ヲシテ検査セシムルト云フコトヲ含ンデ居ルノデアルカ、或ハ宮内官吏ダケが世襲財產ヲ検査スルト云フノアルカ、其所ヲ御尋シタ

○政府委員(馬場鍊一君) 三十二條ノ當該官吏ト申シマスルノハ、宮内省ノ官吏ト云フ考アリマス、併シ此宮内省官制ニハ、宮内大臣ノ職權ニ屬スル事柄ニ付テ警

視總監地方長官等ヲ指揮スルヤウナ規定モアリマスルノデ、此宮内省ノ官制ハ皇室令デアリマスルガ、是ハ今申上ゲタが如ク特ニ關係ガアルト云フノノデ、總理大臣或ハ内務大臣モ副署ヲシテ居ルヤウナ次第ニアリマス、故ニ三十二條テ當該官吏ト申シタノハ、主トシテ宮内官吏デアリマスガ、其宮内省官制ノ解釋上カラ地方長官ニ宮内大臣ガ命ジマスレバ、其官制ノ勸トシテ出來ルテアラウ、併ナガラソレハ實際ニ於テハ必要ハ餘リナイグラウト云フコトハ考ヘテ居リマスガ、宮内省官制デ不十分ナリト見マスレバ、皇室令タル宮内省官制ヲ或ハ追加ナリ改正ナリスル方ガ或ハ適當ナルヤモ知レマセヌガ、今ノトコロテハ左様ナ考デアリマス

○司法省參事官山内確二郎君 今ノ點ニ付テ立案ノ當時吾ミノ考ヘテ居ルトコロヲ少シ附加ヘテ置キマス、現行ハ此華族世襲財產法施行手續ニ地方長官ニ命ズトアリマスガ、地方長官ノ權限ト云フコトハ、ヤハリ官制ニ依ツテ定メナイト云フト稍、不穩當デアルマイカ、世襲財產施行細則ニ依ツテ地方長官ニ斯ウ云フコトヲサセルト云フコトヨリ、地方長官ニ權限ヲ持タセル一ツノ官制ヲ改正スルカ、何カノ方法ヲ講ジナケレバ餘り立法ノ勸キガナイグラウ、ソコテ宮内省カラ初メ相談ガアツタ、元ノ案デハ宮内官又ハ地方長官デアツタ思ヒマスガ、之ヲ止メテ當該官吏トシテ置イタナラバ、此儘デ官制ヲ動カサナイテ結局今ノトコロテ宮内省デアル當地方長官ニ検査ノ權限ヲ與ヘルト云フコトヲ——併シ尙是ハ地方長官ニ關スル官制ヲ修正シテ、サウナレバ法律ノ當該官吏ト云フコトが自然擴ガッテ來マスカラ、地方長官ニサセルコトが出來ル、斯ウ云フコトデ當該官吏ト官吏ト云フ文字が入ッタヤウニ記憶シテ居リマス

○高木益太郎君 三十二條ノ當該官吏ト云フノサウ云フヤウナ意味デアルト云フナラバ、三十三條ノ宮内大臣ト云フ上ニ以テ行ツテ「當該大臣又ハ宮内大臣」ト御直シニナツテハドウデアルカ、一方が現在ニ於テモ地方長官ニ命シテ取締ラシムルト云フ以上ハ、唯今政府委員ノ云フ通り、地方長官が勸クノハ即チ純然タル國務デアリマスカラ、ドウモ此三十二條ノ當該官吏ノ中ニハ宮内官モ含ミ、場合ニ依ツテハ宮内官以外ノ官吏モ含ム、即チ國務ニ屬スル官吏モ含ム、斯ウ解釋スル、現在ハサウテアルシ、將來ニ於テモサウ解釋シナケレバナラヌト云フヤウナ方針ニ向ケル爲ニ、元ハ宮内官又ハ地方長官トアツタモノヲ、特ニ司法省ノ政府委員ノ注意デ廣イ意味ニ當該官吏ト直シタ以上ハ、次ノ條文ノ施行規定モ「宮内大臣之ヲ定ム」ト云フノ「當該大臣又ハ宮内大臣之ヲ定ム」斯ウ直スノガ——三十二條バカリズ、三十三條ヲ御覽ニナラナカッタノデアリマスカ、三十二條ト三十三條ノ釣合カラ言ツテ、當該大臣ト云フコトニシテ、國務ニ關スルモノハ司法大臣トカ大藏大臣トカ云フモノガ極メル、國務ニ屬シナイ華族ノ世襲財產ハ宮内大臣極メルト云フ風ニ御ヤリニナツタ方が一貫スルデナイカ、此點ニ付テ政府ノ意見ハドウデアリマスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 其事ハ先般モ御質問ガアツタヤウニ考ヘマスガ、假令三十二條ノ當該官吏ト申シマシテモ、勅令或ハ皇室令等ノ關係カラ、改正ノ結果トシテ地方長官等ガアルヤウナコトニナリマシテモ、ソレハ唯世襲財產ノ検査ヲ爲シ、之ヲ宮内大臣ニ報告スルト云フダケノ關係ト考ヘマス、而シテ本法ハ華族ト云フ特別ノ階級ニ屬スルトコロノ財產ヲ世襲ニスルコトニ關聯シタ事柄デアリマスカラ、何處マテモ華族ヲ監

督シテ居ル專任大臣、即チ宮内大臣ガ其施行手續ヲ定メテ始メテ圓滑ニ行ハレルヤウニ信ジテ居ルノデアリマス、若シ之ヲ分割シマシテ、之ヲ他ノ大臣ガドウ云フ點ニ付テ施行手續ヲ定メルカ知レマセヌガ、ソレデハ到底本法ノ施行ハ圓滑ヲ期セラレナイコト、信シテ居リマス、故ニ假令地方官ガ世襲財產ノ検査ヲスルト云フコトニナリマシテモ、本法ノ施行手續ナルモノハ宮内大臣ガ之ヲ定メルコトハ何等ノ不都合ハナイン 確信シテ居リマス

○高木益太郎君 成程一面カラ見レバ華族ノ世襲財產ノ取締方法デアリマスガ、一面カラ見マスト民法商法民事訴訟法ノ外ニ特別法ノ制定ニ屬スルコトガデアリマスカラ、ソコテ一面ニハ世襲財產ノ登記登録國債有價證券ニ關係シテ、第二者ノ權利ニ場合ニ依ルト消長ヲ來ス事柄ニナルノア、今御話ノ通り不當利得ノ問題ヤ何カハ、此規定ガアツテ始メテ差押ヲスルコトガ出来ヌトカ何トカナルノア、單純ナル華族ノ身分ニ屬スルコトナラバ、宮内大臣ガ極メルト云フコトハ論ガ立ツ、併ナガラ現ニ前ノ條文ニ於テモ地方官吏ヲシテ取調ヲセシムルコトハ、國家ニ屬スル地方官吏ニ宮内大臣ガ命令シテヤルト云フコトニナツテハ、宮中府中ノ別ヲ混同スルコトニナル、其前ノ三十二條ノ登記又ハ登錄ニ關スル費用等ニ付キマシテモ、或ハ之ヲ納付スル手續ノ規定デアルトカ何トカ云フコトハ、總テアハリ國務ニ屬スル事柄ガ多カラウト思フ、現ニ此場所ニ御出デニナツテ居ル人デモ、法制局ノ御役人モアル、又司法省ノ御役人モアルノデアリマシテ、而シテ國務ニ屬スル事柄ガ御説明ノ上ニモ多イ、單純ナル世襲財產ノ認可トカ何トカ云フ宮内大臣特別ノ權限以外ノ事柄ガ多イノデアリマス、現ニ先刻政尾君ノ御説ノ通り、財產審議會ノ組織ナドモ衆議院議員モ加ヘロト云フヤウナ御説モアツタヤウナ次第ニアリマス、廣ク社會公眾ノ利益ト云フモノヤハリ此法律ハ見テ居ル、即チ民法商法若クハ民事訴訟法ノ例外法ヲ作ルノテ、此性質ハドウ屬スルカト云フ、國務ニ屬スルコトハ疑ナイン、而シテ現ニ地方官吏が検査其他ノ此法律ノ運用ニ關係シテ居ルト云フコトハ、此施行規則モヤハリ當該大臣又ハ宮内大臣之ヲ定メルト云フコトニスルノガ必要デハナイカ、成程眼目ハ——事ノ起リハ華族ノ世襲財產ヲ拵ヘルト云フノデアツテ、其影響ハドウカト、云フト、一般國務ニ屬スルノデアリマス、一般國務ニ屬スル問題ニ付テハ、或ハ司法大臣或ハ大藏大臣ガ此法律ノ施行手續ヲ極メルト云フコトガ、ドウモ論理上一貫シタ譯デハナイカト考ヘルガ、尙其點ニ付テ一ツ伺アツテ置キタイ

○政府委員(馬場鍊一君) 唯今ノ御尋モゴザイマシタガ、例ヘバ此登記ノコトハ申スマスルケレモ、要スルニ例ヘバ宮内省ガドウ云フヤウナ風ニシテ公告ヲスルカ、官報並ニ新聞ニスルトカシナイトカ、或ハドウ云フ方法ニ依ツテ世襲財產設定權ヲドウ云フ風ニスルトカ云フコトハ、本法ノ實際ノ施行ニ關係スルコトヲ規定スルノデアリマスカラ、是ハ各官大臣ノ規定スル必要ハナインオ、之ヲ宮内大臣ニ委セマシタトコロデ、敢テ不都合ハナイヨミナラズ、他ノ大臣ヲシテ省令等ヲ更ニ出サシメル必要ハナイ、唯今國務云々ト

云フ御話モゴザイマシタガ、世襲財産法ヲ作りマス事柄事態ハ國務デアリマス、而シテ此施行モ國務ト見ラレヌコトハナイカト思ヒマスガ、併ナガラ御承知ノ如クニ實質上ハ國務トシテモ宮内ノ事務ト云フモノハ、寔ニ區別ハ議論トシテ餘程ムヅカシイ點デアリマス、テ今日デヘ先日モ申上ダマシタ通り、華族一切ノ關係ハ宮内省ア管轄シテ居ルノテアリマスカラ、其事例及政令ニ基キマシテ、宮内省ヲシテ之ヲ定メシメタ方ガ實際ノ施行ガ圓滑ニ行クト云フコトハ、宮中府中ノ別ノ問題ハ寔ニムヅカシイ問題デアリマスガ、要スルニ宮中ノ事務、府中ノ事務が互ニ各權限ヲ侵スコトガナクシテ、適當ニ是ガ實行サレテ行キマスレバ、必ズシモ國務ハ一切宮内大臣が關係シナイト云フ譯デモナイヤウニ實際ハナツテ居リマス、例ヘハ爵位ノ關係ハ其一例カト思ヒマスルカラ、本問題ニ付テモ同様ニ宮内大臣ヲシテ定メシメテモ、何等各省大臣ノ職權ヲ侵スコトハナイト確信致シマス○高木益太郎君 然ラバ改正ヲ爲サル大藏省令ノ草案ヲ参考ノ爲ニ 本委員會ニ提出ヲシテ貰ヒタイ、草案ガアレバ……

○政府委員(馬場鍊一君) 草案ハ極ク所謂草案ア、全ク確定シタモノハナイノデアリマス、テ御示シラスル程ノ纏ツタモノハ今日アリマセス、併ナガラ其纏ラヌモノデモ構ハヌト云フ御注文デゴザイマスレバ、出來ヌコトハナイト存ジマスガ、例ヘハ此登録ノ關係等ニ付テハ未ダ草案モナイヤウナ次第アリマス、併シ其點ハ決シテ支障ヲ來スヤウナコトハナイコトハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス○高木益太郎君 ソレダケヲ御出シヲ願ヒタイ

○岸本賀昌君 字句ダケノ點アリマスガ、現行法ト改正案ヲ較ベテ見マスト、現行法ニ於テ華族ト書イテアルトコロハ、總テ有爵者ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハドウ云フ理由ニ依テ直シタノデアリマスカ、又現行法ノ十五條三爵ヲ奪ハレ又ハ族ヲ除カレ云々トアリマスガ、族が除カレテモ爵が存スルト云フコトガアルモノデアリマスカ、ツマリ華族ト云フコト、有爵者ト云フモノハ同一ニ使ハルモノニアカルカドウカト云フコト承リタイ○政府委員(馬場鍊一君) ソレハ明治四十年ニ華族令が出マシテ、有爵者ト言ヒマスト必ズ戸主ヲ指スコトニナリマシタ、有爵者ノ家族デモヤハリ華族ト云フ族稱ヲ受ルノデ、唯華族ト言ヒマスト他ノ家族ヲモ指スコトニナリマスノデ、有爵者ト云フノ戸主ヲ指スコトニナリマス○委員長(古屋慶隆君) チヨット皆様ニ御相談シマスガ、先日來大體論ヲ終リ、逐條ニ付テノ御審議モ餘程精細ニ御質問ニナツタヤウデアリマスカラ、餘リ御質問がナケレバ質問ダケハ終了致シタイト思ヒマス○阿部徳三郎君 私ノ方ハ大體質問ヲ終シタノデアリマスガ、モウ一ツ御許シヲ願ヒタイ、前回ニ御尋ラシタ第一條ノ家格ノコトデス、是ハ本員ナドハ公、侯、伯、子、男ト云フ階級ヲ意味シタモノデアルカト思ッテ御尋ネシタトコロガ、其階級デハナクシテ、ソレハ華族ノ資產狀態ヲ意味スルモノデアルト云フヤウナ御答辯ガアッタノデアル、ソコテモハ此質問ハ全ク杞憂デアルカモ知レマセヌケレドモ、貴族院既ニ原案ニ杞憂ヲ抱イテ此文字ヲ挿入シタ以上ハ、ヤハリ杞憂ヲ以テ御尋シテ、若シ出來得ルナラバ此施行規定ト云フモノカ何カニサウ云フ事ヲ明カニシテ置ク方ガ如何デアラウト云フヤウナ考ガアリマスカラ御尋

ヲシテ見タイノデアリマス、免ニ角資產ノ狀態ニ依テ家格ヲ定メルト云フコトニナレバ、今日ノ二菱家ノ如キ、爵ニ於テハ男爵家アル、併ナガラ資產ニ於テハ日本ニ指ヲ屈スル財產家アル、若シ其家格ヲ維持スルガ爲ニ世襲財產ヲ設定シヤウト云フナラバ、一千万圓モ或ハ二千萬圓モ必要ニナルカモ知レマセヌ、斯ノ如キ事ハ一體華族ヲ保護スルト云フ精神デモナカラウト思フ、テ寧ロ公、侯、伯、子、男ト云フ階級ノアリマス以上ハ、公爵ハ歲入十万圓、其次ハ八万圓、其次ハ五万圓トカ云フヤウニ、階級ニ依ツテ此世襲財產ヲ制限スルト云フヤウナコトハ必要デハナカラウカ、元來カラ言ヘバ不融通物ヲ多ク拘ヘルト云フコトハ、國家經濟上宜シクナイコトデアル、サリナガラ特殊ノ事情ノ下ニ華族ヲ保護センケレバナラヌト云フコトデアリマスレバ、其階級ニ依ツテ其資格面目ヲ保ツダケノ財產ガアレバソレデ宜シ、故ニ三井家ノ如キ二菱家ノ如キ數千万圓ノ財產デアッテモ、世襲財產ト云フモニハ制限ヲ置イテ、其階級相當ノ世襲財產ヲ設定スルト云フコトヲチヨツト御尋シテ置キマス、出來得ベクンハ施行細則カ何カニ依テソレ等ノモノヲ制限シテ置クガ宜シト思フノデアリマスガ、其點ニ於ケル政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ、ソレダケ承リタイ○政府委員(馬場鍊一君) 先日御答シマシタ趣旨ハ、必ズシモ其家ノ現在ノ資產ト云フコトノミデ申シタノデハアリマセヌノデアリマスガ、或ハ私ノ説明ガ不十分デアツカモ知リマセヌガ、貴族院ノ趣旨ハ其家ノ品位ト云フコトニナリマスノデ、例ヘハ此ニ僅カニ三四万圓ノ財產シカナイ、併ナガラ其家柄ハ公爵家アルト云フヤウナ場合ニハ、隨分殆ド其全財產ニ近イモノヲ世襲財產トシマセヌト、其家ノ品位ヲ保ツテ行クコトが出来ナイト云フコトニナリマセウシ、又男爵家ト云フモノハ、爵ノ上カラ言ヘバ低ウゴザイマスケレドモ、其家ノ品位ト言ヒマスカ、社界的ノ格式ガ高ク大キアリマスル場合ニハ、隨分多大ノ財產ヲ世襲財產ニシマセヌケレバ品位ヲ維持スルコトが出來ヌ、斯ウ云フコトニナリマス積リテ先達御答シマシタノデゴザイマシタガ、是ハ施行規則ノ上テ公爵ハ何万圓、伯爵ハ何万圓ト云フヤウニ定メマスコトハ、全體實際ノ事情ニ適シナイ結果ヲ見ヤシナイカト云フコトヲ恐レテ居ルノデアリマシテ、男爵子爵アタリニハ、御聞キ申シマスト、隨分年收五百圓モアレバ繼ナガツテ行クト云フヤウナコトノ御話モ此間出マシタヤウナ譯デ、サウ云フ場合ニハ舊臣共ガ寄ツテ一万圓ノ金ヲ造ツテ、ソレデ世襲財產ヲ設定スルト云フヤウナコトモ實際ニハアルヤニ聞キマシタ、故ニ之ヲ一律ニ施行規則デ何万圓以上トカ以下トカ云フコトヲ限定シマスルコトハ、誠ニ困難デアリマスカラ、是ハ施行規則ニハ行キマスマイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ多數ノ財產ヲ不融通物ニスルト云フコトハ、飽クマデ避ケルト云フコトハ、實行ニ於テ出來ヤウナコト考ヘテ居リマス○岸本賀昌君 此爵ト云フモノハツマリ華族ト云フ特殊ノ階級ノ身分ニ對シテ下ルトコロノ一ツノ榮典デアラウト云フ、有爵者ト言ヒマスト、何レ伯爵トカ男爵トカ云フコトヲ考ヘテ居リマス、併ナガラ多數ノ財產ヲ不融通物ニスルト云フコトハ、飽クマデ避ニシテアリマシテ、此第一條ノ趣旨ヲ見マスト、ドウシテモ男爵家ハ男爵家ダケノ格ニ應ジ、伯爵家ハ伯爵家ニ對スルダケノ格ニ應ジテト云フコトニシカ此第一條ハ讀メヌダケルト思フ、此法律ノ根本ノ趣意ト云フモノハ、ヤハリ華族ト云フ特殊階級ノ人、即士族トカ平民トカ云フモノニ對シテ特立シテ居ルトヨロノ華族其モノ、階級ニ對スル財產

保護デ、華族ト云フモノヲ主トシテ出來テ居ル故ニ、元ノ方が明瞭デ、此貴族院ノ修正ノタメニ分ラヌヤウニナツタ思ヒマスガ、ソレハ何方ヲモ宜イトシテ、條文ニ皆有爵者ト書イテアルノニ、看板ニ華族世襲財產法ト書イタハドウ云フ譯ニアリマスカ、内容ト看板ト違フヤウデアリマスカ、ソレハドウ云フ理窟ニアリマスカ、又近來ノ立法例ニ其内容ト見出シノ看板ト違フノガアリマスカ、之ヲ併セテ伺シテ置キマス

○政府委員(馬場鍊一君) 是ハ先刻ノ御質問ノ答が悪ルカツタカ知レマセヌガ、華族令ニ「凡ソ有爵者ヲ華族トス」「有爵者ノ家族ハ華族ノ族稱ヲ享ク」ト規定シテアツテ、有爵者ハ當然華族デアツテ、其家族ハ華族ノ族稱ヲ享ケルト云フノデ、ソレデ華族ノ世襲財產法ト名ヲ付ケマシテ、有爵者ハ有爵者ト書イテ行シテモ釣り合ハ惡クナイト考ヘルノデアリマス、華族ノ戸主ハ即チ有爵者ニアリマスカラ、其方ハ現行法ノ字句トシテモ餘り違ッテ居ラスト考ヘテ居リマス

○岸本賀昌君 サウスルト有爵者以外ノ家族ノ人々モ所謂華族ト言ヘルノデアリマスト、此看板ニ依ルト全部ノ人ノ財產ノ保護ニナル譯ニアリマスガ、御説明ニ依ルト有爵者世襲財產法トシタ方が宜イヤウニ思ハレル、併シ或ハ有爵者以外ノ者ノ財產保護ヲ意味スル譯ニアリマセヌカ

○政府委員(馬場鍊一君) 有爵者世襲財產法ト云フト何ニカ有爵者ダケノヤウデ、世襲財產名ヲ付ケル以上ハ、ヤハリ家ヲ見テ行ク譯デ、其家ト云フモノヲ見マストキハ、華族ト云フ方が穩當デアツテ家ノ財產ト云フ感念カラシテ、華族世襲財產トシタ方が適當デアルト云コトカラ斯ウシタノデアリマス

○岸本賀昌君 有爵者以外ノ兄弟トカ、イロイロノ者、ソレハ華族ト言ヒ得ルノデアリマスカ、サウデアルト、ソレ等ノ財產マデモ保護サレルヤウナ法律ト見ラレハシマセヌカ、ソマリ廣イ意味ニ見ラレハシマセヌカ

○司法省參事官山口確三郎君 此華族世襲財產法ト云フ文字ハ、現行法ノ文字ヲ其儘表題ヲ改メズシテ用井タノデアリマス、現行法ニハ華族世襲財產ノ表題ノ下ニ、其内容ハ戸主ノミニ適用シテ家族ニシテ、華族ノ族稱ヲ享ケル者ノ世襲財產ノ現行法ニハ無イノデアリマスガ、表題ハ廣イ意味ノ華族ト云フコトニ書イテアリマス、ソレデ華族ノ戸主其モノノ世襲財產法ガ書イテアルノデアリマシテ、今度ハ華族ノ戸主ト云フ字ヲ廢メテ有爵者ヲ華族ト爲ストアリ、有爵者ノ家族ハ華族ノ族稱ヲ享ケルト云フコトニナツテ居リマス、其華族令ト違ッテ華族ノ戸主ト書クト、何ニカ意味ガアルモノ、ヤウデスカラ、有爵者即チ戸主ト見做レタノデ、華族世襲財產法モ同シク華族ノ戸主ト云フ文字ヲ有爵者ト書イタノデアリマス、併シ表題ハ文字語呂呂ナドモ、華族世襲云々ト云フ方が宜イカラ、之ヲ取りマシタノデ、表題ト内容トが現行法ヨリ違ッテ居ルノデアリマシテ、違ッテモ大シタ間違ハナカラウ、又間違ノアルベキ咎デナイノデアリマス

○岸本賀昌君 内容ト違ッテ居ルト云フ例ハ……

○司法省參事官山内確三郎君 現行華族世襲財產法ガソレデアリマス
○今井喜八君 本員ハ何時モ折惡シク他ノ委員會ノ爲ニ遅ク出席致シマシタカラ、定メシ政府委員モ 説明セラレ、又或方カラ質問モアツテ、大體モウ盡ギテ居ラウト思フノデ、大體ニ付テ伺ヒマスカ、一體此案ニ付テハ貴族院ニ於テ各條ニ付テ大ナル修正ヲ

加ヘテ居ルヤウデアリマスガ、總テ貴族院ノ修正ニハ政府ハ御同意ニアリマスルガ、就中第三條今度五條ニ改メタガ、有爵者が未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ世襲財產ヲ設定又ハ増加スルコトヲ得ズトシテアツタノヲ、今後ハ「有爵者が未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其法定代理人人……」

○委員長(古屋慶隆君) 御話中ニアリマスガ、其條文ニ付テハ先刻來屢、質問應答ガアツタノデアリマスカラ、速記録ヲ御覽下スッタナラ御分リニナラウト思ヒマス

○今井喜八君 ソレ故ニ前頭ヲシテ御尋ネシタノデアリマス、斯様ナ「得ス」トアルノヲ「得ル」ヤウニ修正シタニ拘ラズ、御同意ノアツタノハ如何ナル理由ニアリマスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 政府ハ貴族院ノ修正ニ全部同意ト云フコトハ、先達總理大臣ヨリ、本會ニ於テ言明サレタ通りアリマス、五條ノ修正ニ同意致シマシタノハ實際ノ必要ト云フコトニ貴族院デハ重キヲ置カレタノデ、政府ノハ寧ロ世襲財產設定ノ上ニ於テハ重キヲ置イテ宜カラウト思ヒマスカ

○委員長(古屋慶隆君) 實際ノ必要ガアルト云フコトヨリ、貴族院ニ修正ニナツタノデアリマス、ソレデ實際ノ必要ト云フコトハ、寧ロ世襲財產設定ノ上ニ於テハ重キヲ置カレタノデ、政府ノハ寧ロ世襲財產設定ノ上ニ於テハ重キヲ置カレタノデアリマス

○委員長(古屋慶隆君) 大體ニ於テ質問ハ終了シタモノト認メマス、是テ御質問ハ終了シタコトニ致シマス、御異議ニアリマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(古屋慶隆君) 是ハ何カ御修正デモアリマスカ

(「修正ガアリマス」ト呼フ者アリ)

○委員長(古屋慶隆君) 御修正ガアリマスレバ、明日午後一時カラ開會致シマス
午後四時四十一分散會